

武生商工会議所 管内事業所景気動向調査 令和6年4-6月期

調査期間 令和6年6月24日～令和6年7月8日

調査票配布数 573 件

調査回答件数 144 件

回収率 25.1 %

今期：令和6年4-6月期 前期：令和6年1-3月期 来期：令和6年7-9月期

(1) 業種・従業員規模

	① 5人以下	② 20人以下	③ 50人以下	④ 100人未満	⑤ 100人以上	無回答	合計	割合
①製造業	2	11	6	4	10	0	33	22.9%
②卸売業	10	9	3	0	1	0	23	16.0%
③小売業	18	6	4	3	0	0	31	21.5%
④飲食・サービス業	5	7	1	2	2	0	17	11.8%
⑤建設業	4	10	5	1	1	0	21	14.6%
⑥その他	8	4	5	0	1	0	18	12.5%
無回答	0	0	0	0	0	1	1	0.7%
合計	47	47	24	10	15	1	144	100.0%
割合	32.6%	32.6%	16.7%	6.9%	10.4%	0.7%	100.0%	

●調査結果まとめ

令和6年4-6月期の景気状況DI値は、前期と比較して全業種平均で▲28.9から▲7.0へと21.9ポイント上昇した。業種別でみると、前期と比較したDI値は、建設業が▲33.3と他の業種と比べて下降の割合が高かった。

売上高のDI値については、全業種平均で前期▲23.3から▲4.9と18.4ポイント上昇した。前期と比較したDI値は、飲食・サービス業のみが35.3とプラスとなった。小売業が前期と比較して46.7ポイント減少しており下降の割合が特に高かった。

仕入価格のDI値は、前期と比較して9.8ポイント上昇し、58.7であった。

北陸新幹線開業の「影響があった」と回答している多くは、「飲食業」「宿泊業」であった。全体的に効果を感じる企業は少ない結果となった。

来期は景況状況、売上高のDI値とも下降する見込であった。

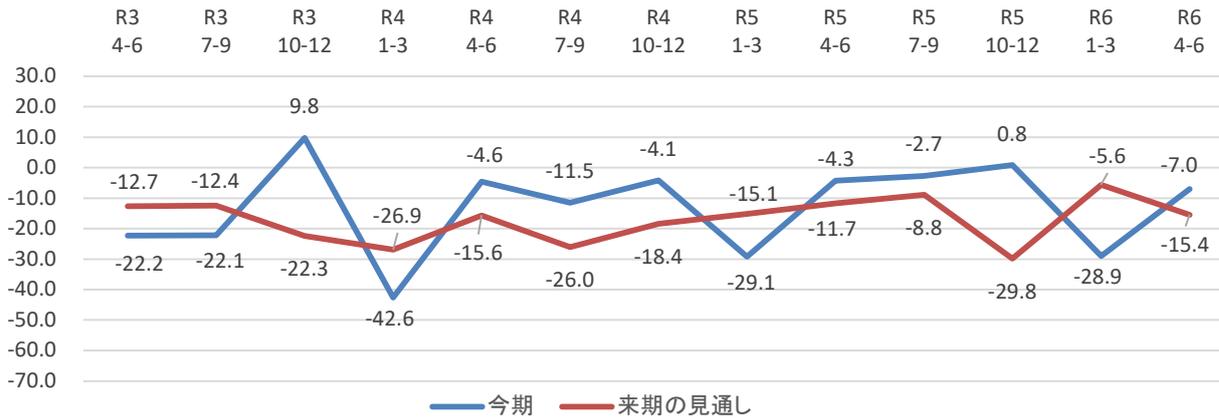
【問1 今期の景況状況について】

今期の景況状況について、D I 値（上昇から下降を引いた値）で見ると、前期と比較したD I 値が前回調査時（令和6年1-3月期）▲28.9と比較して21.9ポイント大きく上昇し▲7.0となった。来期（令和6年7-9月期）の見通しD I 値については、今期（▲7.0ポイント）と比較し8.4ポイント低下して▲15.4であった。

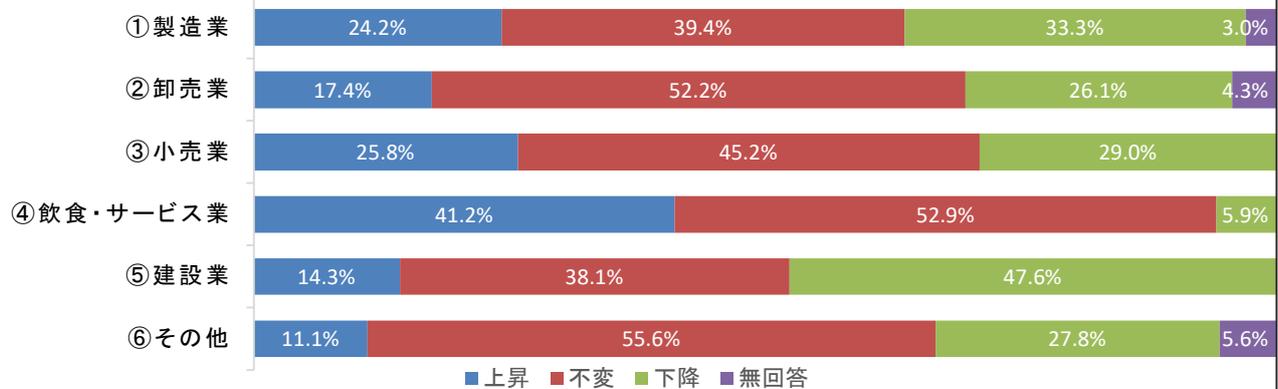
業種別で見ると、前期と比較したD I 値は、製造業が54.9ポイントと前期と比較して下降と回答した割合が他の業種と比べて高かった。

来期は全業種平均で今期と比較してD I 値が8.4ポイント低下が見込まれており、飲食・サービス業以外の業種で低下が見込まれている。飲食・サービス業は28.6ポイントの上昇の見込みである。

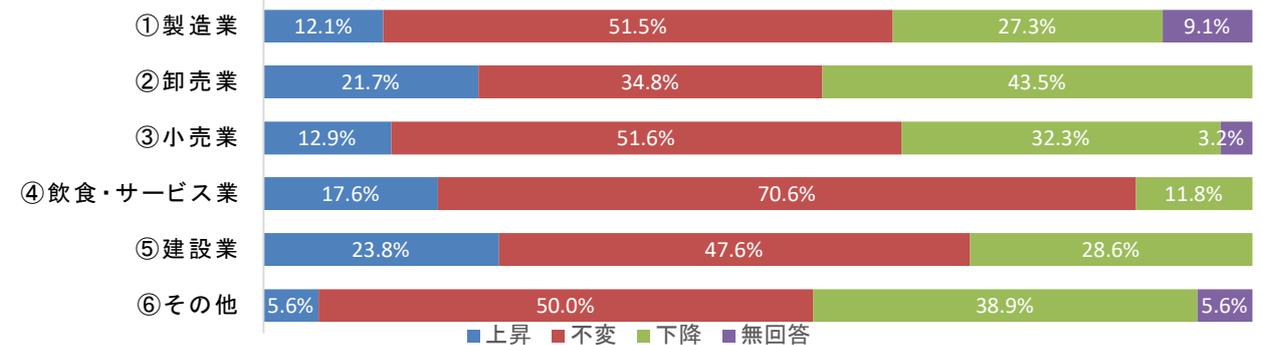
景況D I 値（上昇から下降を引いた値）の推移 全体



Q1 業種別 今期の景況状況 前期と比較



Q1 業種別 今期の景況状況 来期の見通し



【問2 今期の売上高（受注高・出荷額等）について】

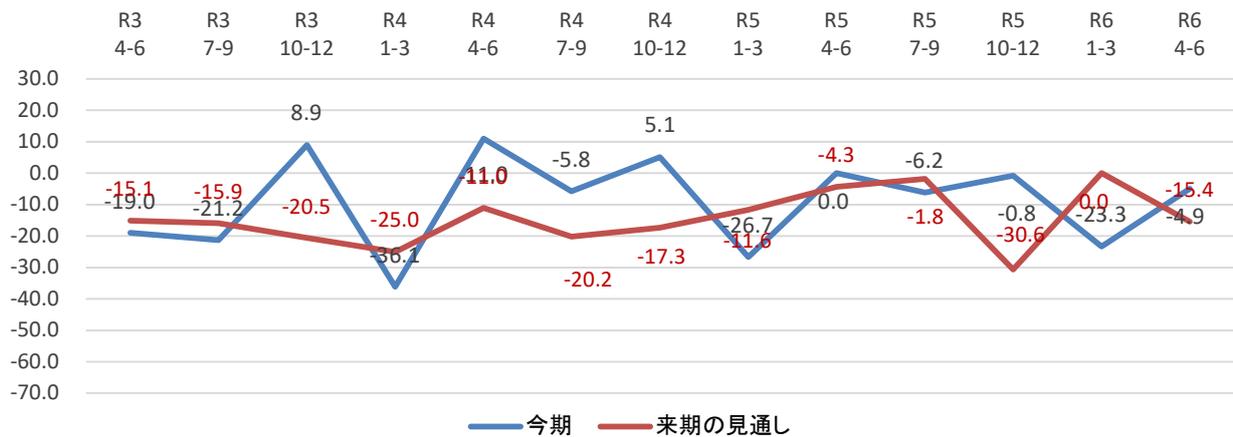
今期の売上高について、D I 値（上昇から下降を引いた値）で見ると、前期（R6年1-3月期▲23.3）と比較してD I 値は18.4ポイント上昇して▲4.9であった。
来期の見通しD I 値については今期（▲4.9）と比較して10.5ポイント減少が見込まれており、▲15.4であった。

前期と比較したD I 値は、飲食・サービス業以外が低下し、建設業で（前期▲23.1→）▲23.8（前期差0.7ポイント減）と下降しており下降の割合が特に高かった。

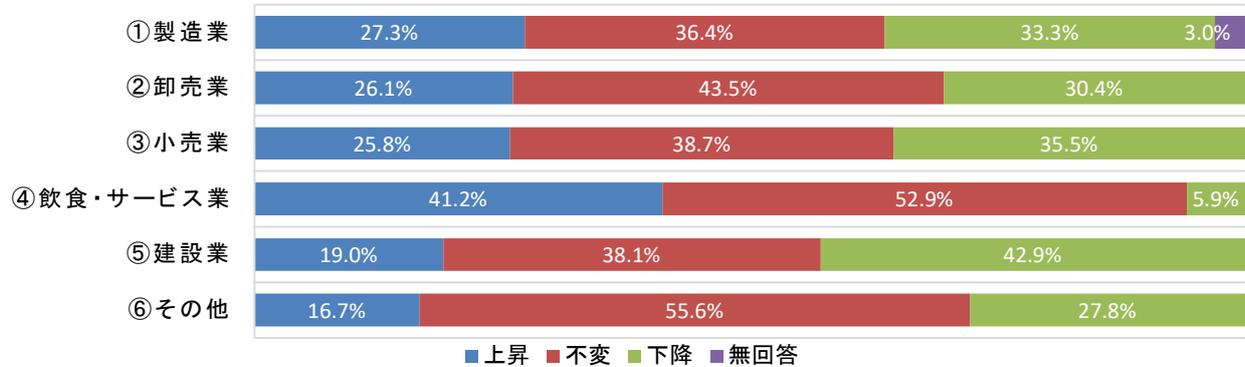
北陸新幹線開業の「影響があった」と回答している多くは、「飲食業」「宿泊業」であった。全体的に効果を感じる企業は少ない結果となった。

来期の見通しD I 値については、卸売業で（前期0→）▲21.7（前期差21.7ポイント減）と低下が見

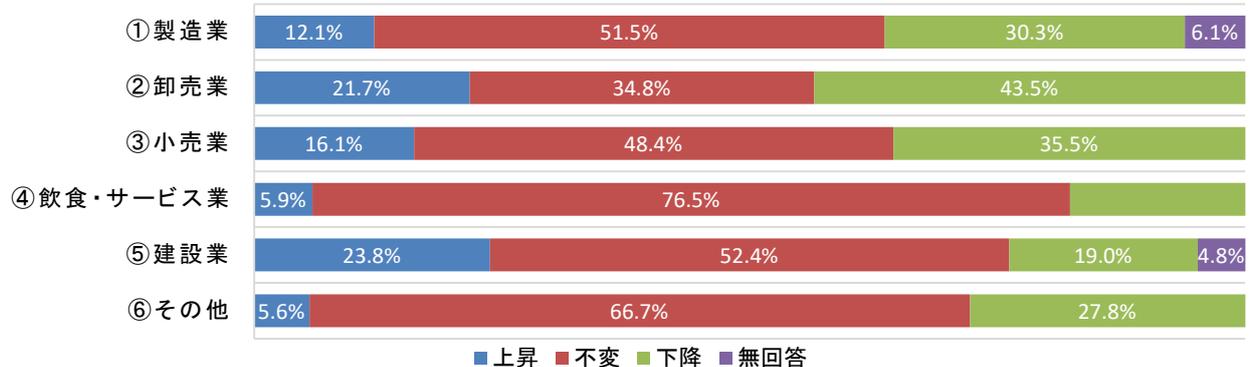
売上状況D I 値（上昇から下降を引いた値）の推移 全体



Q2 業種別 今期の売上高 前期との比較



Q2 業種別 今期の売上高 来期の見通し



【問3 今期の仕入単価（商品・原材料等）について】

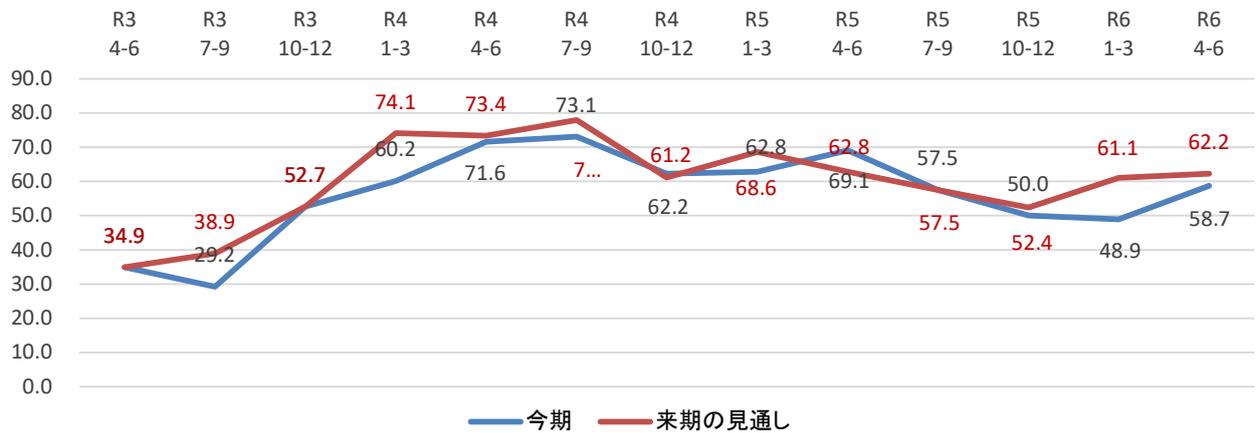
仕入価格については、D I 値（上昇から下降を引いた値）で見ると、前期（R6年1-3月期）と比較したD I 値は9.8ポイント上昇して、58.7であった。

来期の見通しD I 値については、今期（58.7）から3.5ポイント上昇を見込み62.2であった。

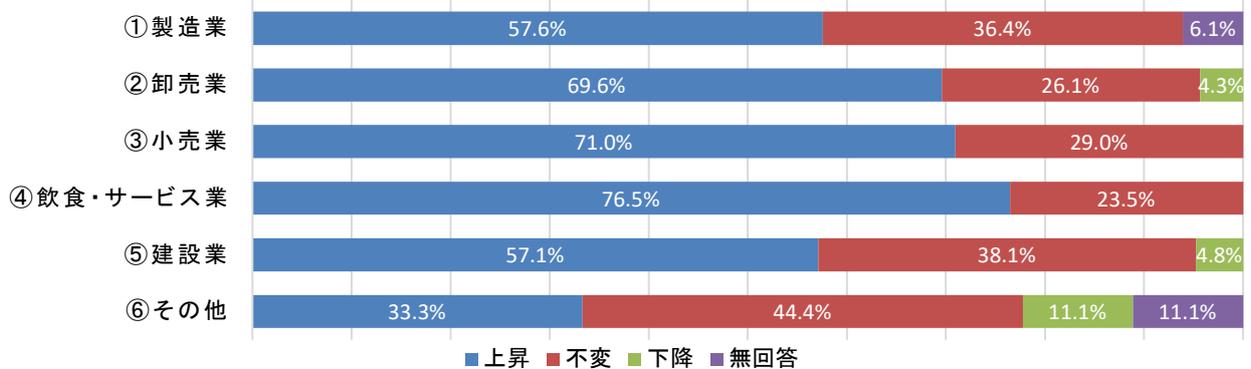
前期と比較したD I 値は、飲食・サービス業のD I 値が（前期75）1.5ポイント上昇し、76.5となり高い水準が継続している。

来期の見込みでも、飲食・サービス業と小売業で82.4と高い水準で推移する見込みである。

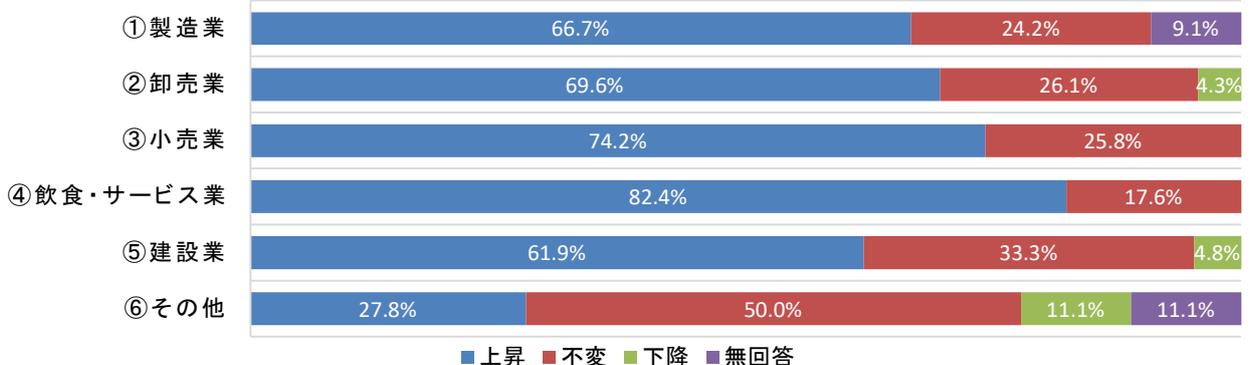
仕入価格D I 値（上昇から下降を引いた値）の推移 全体



Q3 業種別 今期の仕入単価 前期との比較



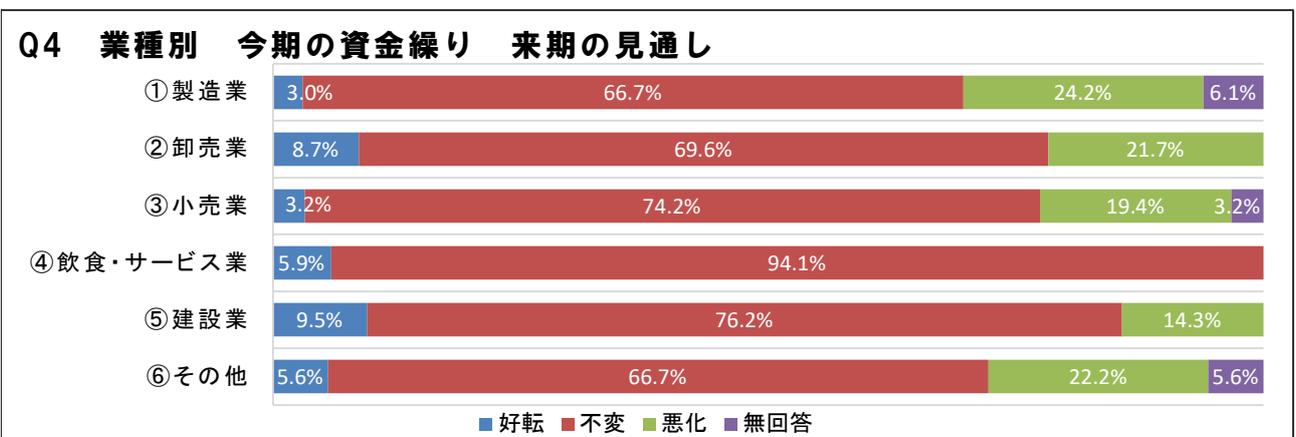
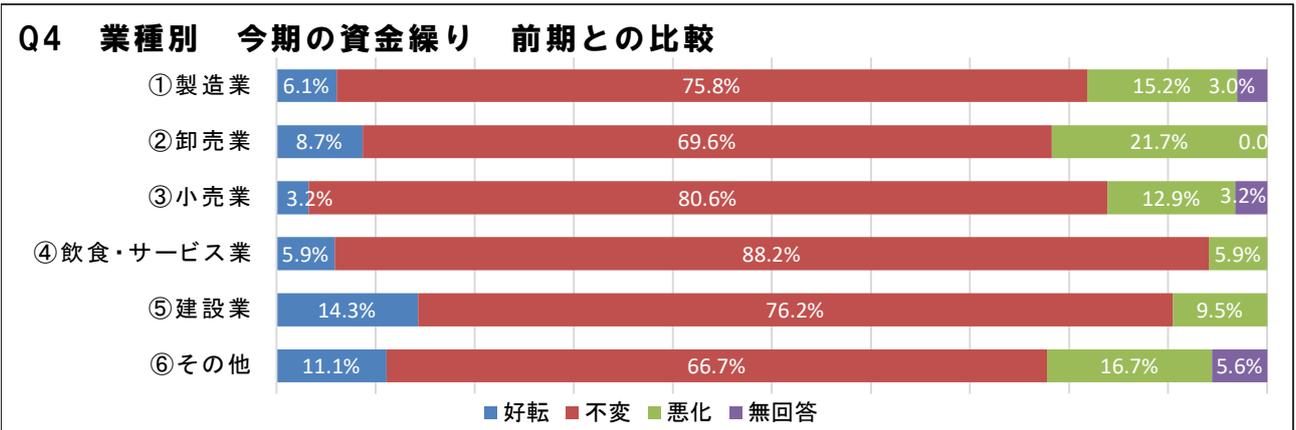
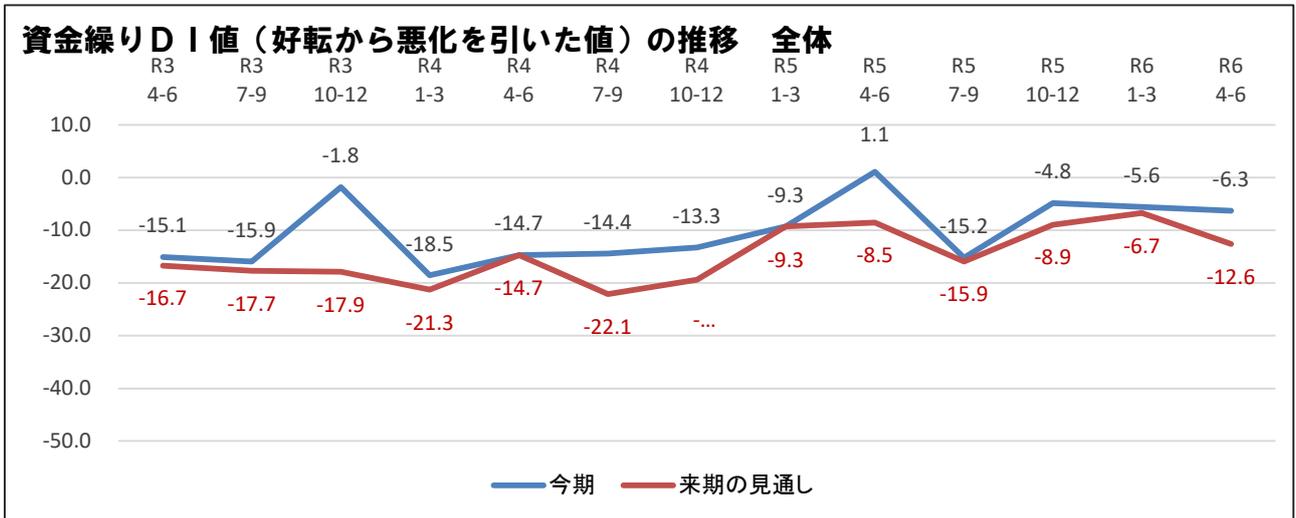
Q3 業種別 今期の仕入単価 来期の見通し



【問4 今期の資金繰りについて】

今期の資金繰りについて、D I 値（好転から悪化を引いた値）で見ると、前期（R6年1-3月期）▲5.6と比較したD I 値は0.7ポイント減少し▲6.3ポイントであった。来期の見通しD I 値については、今期▲6.3から6.3ポイント減少見込みで▲12.6であった。

業種別でみると、製造業が（前期▲11.1→）▲21.2（前期差10.1ポイント減）にマイナス幅が拡大した。

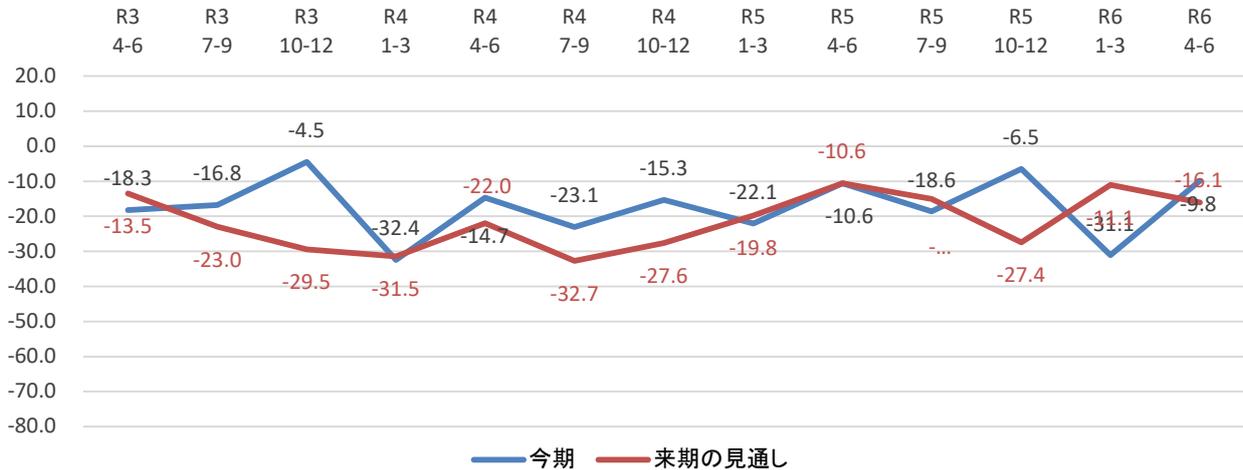


【問5 今期の採算について】

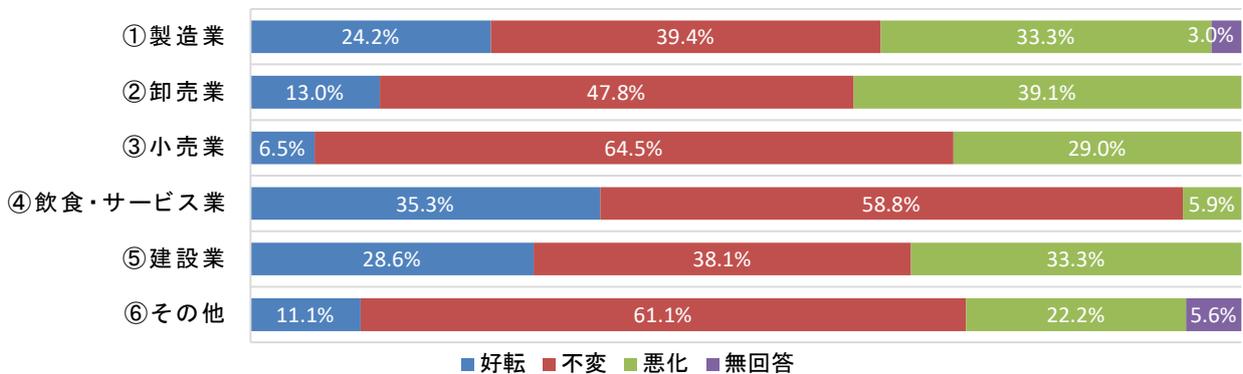
今期の採算について、D I 値（好転から悪化を引いた値）で見ると、前期（R6年1-3月期）と比較したD I 値が前期（▲31.1）に比べ21.3ポイント上昇して▲9.8ポイントであった。来期の見通しD I 値については、今期（▲9.8）から▲16.1〜6.3ポイント減少見込みであった。

業種別で見ると、飲食・サービス業が（前期▲25.0→）29.4（前期差54.4ポイント増）にプラス幅が拡大した。

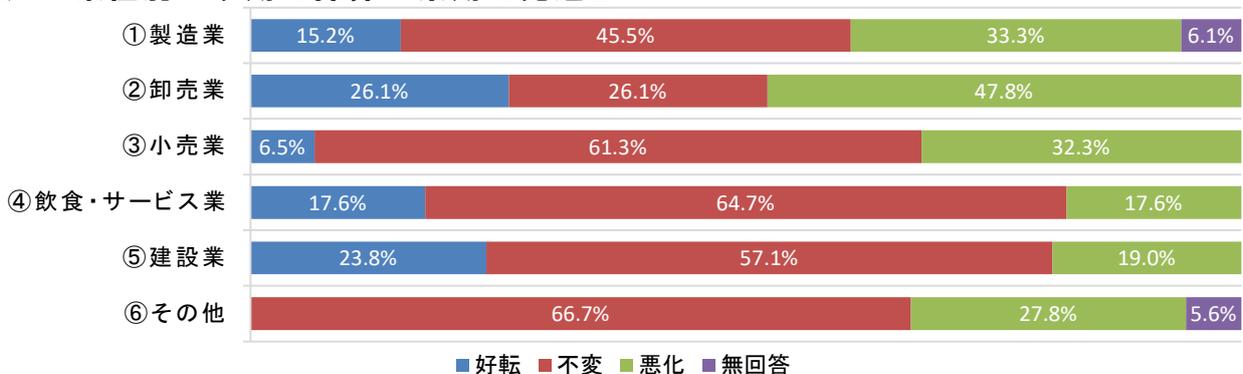
採算D I 値（好転から悪化を引いた値）の推移 全体



Q5 業種別 今期の採算 前期との比較



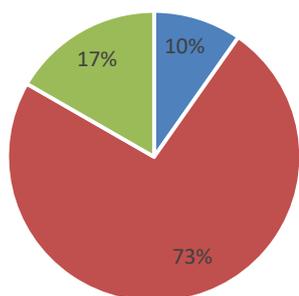
Q5 業種別 今期の採算 来期の見通し



【問6 北陸新幹線開業に伴う影響について（開業日～6月期）】

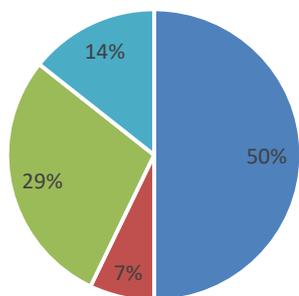
影響があったと回答したのは9.7%で影響がなかったと回答したのが73.6%だった。影響があったと回答している多くは、「飲食業」「宿泊業」「鉄道業」「卸売業」であった。全体的に効果を感じる企業は少ない結果となった。北陸新幹線開業を機に道の駅「越前たけふ」へ出品をしたり、独自のイベントを開催するなど販路拡大へ向けた取り組みを行っている企業があった。今後への効果の期待としては、「大いにしている」、「ある程度している」と回答した方より「していない」と回答した方が上回った。

Q06 北陸新幹線開業の影響について



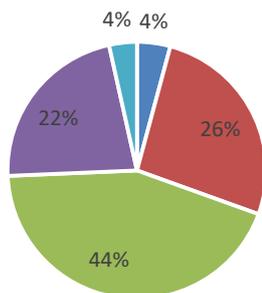
■ ①あった ■ ②なかった ■ ③わからない

Q06①-1（「影響があった」と回答した方）具体的に影響があったもの



■ ①売上増 ■ ②売上減 ■ ③来客数増 ■ ④来客数減

Q06③ 今後（R6年7月～9月期）、効果に期待しているか



■ ①大いにしている ■ ②ある程度している ■ ③していない
■ ④どちらともいえない ■ 無回答